大詔奉戴日
京城日報
朝刊
京城府太平通一丁目三十一番地 發行所 株式會社 京城日報社

詔書

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ皇祚ヲ踐メル大日本帝國天皇ハ昭ニ忠誠勇武ナル汝有衆ニ示ス

朕茲ニ米國及英國ニ對シテ戰ヲ宣ス朕カ陸海將兵ハ全力ヲ奮テ交戰ニ從事シ朕カ百僚有司ハ勵精職務ヲ奉行シ朕カ衆庶ハ各々其ノ本分ヲ盡シ億兆一心國家ノ總力ヲ擧ケテ征戰ノ目的ヲ達成スルニ遺算ナカラムコトヲ期セヨ

抑々東亞ノ安定ヲ確保シ以テ世界ノ平和ニ寄與スルハ丕顯ナル皇祖考丕承ナル皇考ノ作述セル遠猷ニシテ朕カ拳々措カサル所而シテ列國トノ交誼ヲ篤クシ萬邦共榮ノ樂ヲ偕ニスルハ之亦帝國カ常ニ國交ノ要義ト爲ス所ナリ今ヤ不幸ニシテ米英兩國ト釁端ヲ開クニ至ル洵ニ已ムヲ得サルモノアリ豈朕カ志ナラムヤ中華民國政府曩ニ帝國ノ眞意ヲ解セス濫ニ事ヲ構ヘテ東亞ノ平和ヲ攪亂シ遂ニ帝國ヲシテ干戈ヲ執ルニ至ラシメ茲ニ四年有餘ヲ經タリ幸ニ國民政府更新スルアリ帝國ハ之ト善隣ノ誼ヲ結ヒ相提攜スルニ至レルモ重慶ニ殘存スル政權ハ米英ノ庇蔭ヲ恃ミテ兄弟尚未タ牆ニ相鬩クヲ悛メス米英兩國ハ殘存政權ヲ支援シテ東亞ノ禍亂ヲ助長シ平和ノ美名ニ匿レテ東洋制覇ノ非望ヲ逞ウセムトス剩ヘ與國ヲ誘ヒ帝國ノ周邊ニ於テ武備ヲ增強シテ我ニ挑戰シ更ニ帝國ノ平和的通商ニ有ラユル妨害ヲ與ヘ遂ニ經濟斷交ヲ敢テシ帝國ノ生存ニ重大ナル脅威ヲ加フ朕ハ政府ヲシテ事態ヲ平和ノ裡ニ囘復セシメムトシ隱忍久シキニ彌リタルモ彼ハ毫モ交讓ノ精神ナク徒ニ時局ノ解決ヲ遷延セシメテ此ノ間却ツテ益々經濟上軍事上ノ脅威ヲ增大シ以テ我ヲ屈從セシメムトス斯ノ如クニシテ推移セムカ東亞安定ニ關スル帝國積年ノ努力ハ悉ク水泡ニ歸シ帝國ノ存立亦正ニ危殆ニ瀕セリ事既ニ此ニ至ル帝國ハ今ヤ自存自衞ノ爲蹶然起ツテ一切ノ障礙ヲ破碎スルノ外ナキナリ

皇祖皇宗ノ神靈上ニ在リ朕ハ汝有衆ノ忠誠勇武ニ信倚シ祖宗ノ遺業ヲ恢弘シ速ニ禍根ヲ芟除シテ東亞永遠ノ平和ヲ確立シ以テ帝國ノ光榮ヲ保全セムコトヲ期ス

御名御璽

昭和十六年十二月八日

ロメル將軍 突如大攻勢を開始

【リスボン六日同盟】ロイター前線特派員の報道によれば、二月末中部チュニジヤの西部地區から軍を撤收したのち杳として姿を現さなかつたロメル將軍は六日突如東南部戰線においてモントゴメリー麾下の英第八軍に對し極めて大規模な攻勢を開始したといはれる

樞軸軍セジェナヌを占領

【リスボン六日同盟】アルジェー情報によれば、チュニジヤ北部で作戰中の樞軸軍はセラト岬東方四哩の要衝セジェナヌを占領したといはれる

青少年の錬成こそ 必勝戰力の源泉
軍司令官 學校長を激勵
教育者懇談會

光輝ある十日の第卅八回陸軍記念日を迎へるに當り、朝鮮軍では榮光ある半島の徴兵制實施を明年に控へ、これが完璧の成果を舉げるべく七日午前十一時から龍山偕行社に高田城大總長以下全鮮の專門學校長、京仁地方各學校長三百餘名の會同を求めて〝陸軍記念日時局大懇談會〟を開催、健兵健民の育成強化を要望するとともに、教育第一線指導者の希望意見を聽き多大の成果を收めた、席上井原軍參謀長の挨拶、多田參謀から『世界戰爭の現況』について眼たざる世界動向の把握を要望、次いで板垣軍司令官は四十分餘に亘つて烈々たる語調で總力蹶起、學校教育が戰力の源泉たる所以を説き會同者を激勵、深い感銘を與へた

板垣軍司令官挨拶要旨

今や我が國は米英に對し、皇國三千年の運命を定めその興廢を賭つべき大決戰に直進しつゝあるのであります、即ち擧國『勝ちてし止まむ』の決意を新たにするの要今より切なるは無いと信じます、この秋に當り我々は近く第三十八回陸軍記念日を迎へんとするのでありまして、これを思ふとき誠に意義深きものがあり感激新たなるものあるを覺える次第であります、茲において本日は戰時下における半島教育界の柱石たり銃後國民錬成の礎石たる重任を擔はせらるゝ閣下並に各位の御勞苦に敬意と感謝の微意を捧ぐると共に、他面興亡を賭して戰ひたる日露戰役を想起し同戰役に陣歿せられたる十萬の英靈を偲びて、米英擊滅の決意を愈よ堅くすべく御懇談を願はんとして御招き申上げた次第であります

然る所御多忙中にも拘らず遠路わざ〳〵御來臨を得ましたることは板垣の衷心より感謝に堪へない所であります、顧みまするに三國干渉による遼東還附の屈辱に對し報復の意を決して十年の臥薪嘗膽、而も東亞の保全と皇國の自衞の爲世界最強の陸軍國を相手として、成敗を萬死の中に決し、勝利を正義の上に求めんとして敢然蹶起したる當時の擧國一致の決意これらを回想するとき、誠に血湧き肉躍るの感を覺えるのであります、日露戰役當初兒玉參謀次長は勝敗の見透しに就て『勝敗はまあ一五分五分たらう……それを何とか四分、六分にしたいと思つて考へてゐる』と述懷せられてをりますが、今から思へばよくも戰ひよくも勝ち抜いたと思ふのであります、顧へつて大東亞戰爭の勃發以來、御稜威の下、天佑と皇軍の奮戰健闘とにより赫々たる大戰果を收め南方要域を一瞬に收め而も着々として大東亞建設の巨歩を進めつゝあることは、戰史上未だ曾てなき偉大さであり洵に同慶に堪へない次第であります、對米英宣戰の詔書に宣へる

『東亞安定ニ關スル帝國積年ノ努力ハ悉ク水泡ニ歸シ帝國ノ存立亦正ニ危殆ニ瀕セリ事既ニ此ニ至ル帝國ハ今ヤ自存自衞ノ爲蹶然起ツテ一切ノ障礙ヲ破碎スルノ外ナキナリ』

と畏くも一句一句を拜誦し奉りまするとき愈よ『勝ちてし止まむ』の決意に燃え必勝の決意を堅くする次第であります

今日日露戰爭と大東亞戰爭とに就てその意義と重大性、その影響と國民の覺悟などを比較しましたならばこれらの相似せる事實に驚くのでありますが、他面その規模と樣相とを比較しますとき實に今昔の感に堪へないのであります、今や我陸海空の主力を傾倒する熾烈なる決戰段階に突入し、米英の呼號する大規模なる總反攻の時機は遠からずと豫想せられ、本年は戰爭の大局を左右すべき最も重大なる年であります、また一方北邊の動向逆睹すべからざるものがありまして實に一億臣民の一大覺悟を要する秋であります、回顧するに奉天會戰に於て戰勝の素因を形成しましたる第三軍の果敢なる迂回作戰も、三月六日に至りその包圍翼の進展意の如くならず、乃木將軍は全戰局の戰勝の途を拓くため『萬死を期して生を冀求さるの決意あらん事を』と全軍將兵を叱咤激勵し、十萬の部下を死地に投入し、最後の勝利獲得に向つて突進せられたのであります

而して現下我國米英の尨大なる陸海空の戰力に對し、最後の勝利を獲得する途は、實にこの決意にあるのでありまして、即ち一億國民が、よく萬死を期して一生を冀はざる程の不撓不屈の決意を固め、また長期決戰に臨んでは、臥薪嘗膽十年の辛苦と銃後の堅き結束こそ、戰爭に勝ち拔くための要素であると信ずるものであります

實に戰爭は『人間意志の闘爭』であり、如何ほど武器が精鋭であり、また如何に資材が豐富であらうとも、これを操作しこれが威力を發揮せしむるものは人であり、人を得なければ如何ほど優秀なる武器も技術も何の役にも立たぬものであります、要するに眞に戰ひに勝ち拔く必勝の戰力は、銃後國民の逞しき敢闘の氣魄に俟つてのみ培はれ又これこそが皇軍將兵の精神威力の根基となるものであることは今も昔も變らぬ鐵則であります

閣下並に各位は戰時下に青少年學徒錬成の重職に献身奉公せられその文武兩道に亘る御施設により玉成せられたる青少年は出でては大東亞建設の中堅戰士として皇謨を翼賛し、召されては護國の干城として米英擊滅の戰陣に立つべき光を擔ふものであり、實に學校は皇國必勝戰力の源泉であり、且つ皇國の毅然たる結束鍛錬の道場であると思ふのであります

此の意味に於きまして板垣は戰時下、閣下並に各位の御職域に期待する所極めて大なるものがありますが、特に明十九年度より我が半島に徴兵制の施行をみ、茲に半島同胞に遍く國民至上の義務たり、榮譽たる兵役に服し得る資格を附與せらるゝに臻ります、而して半島同胞悉くがよくこの一視同仁、聖恩に應へ奉り大なる要望に副ひ奉るを得るや否やは、青少年錬成の如何にあるのでありまして、その重大なる負荷は實にその御雙肩にありと信ずるものでありまして、この任務に直面せらるゝ閣下並に各位の益々御健闘あらんことを衷心より御祈り申上げ且つ重ねて軍に對し今後一層の御支援あらんことを切に御願ひ申上げます

茲に本日の意義深き御參集の席上聊か所懷を申述べ、御挨拶に換ふる次第であります

尚本席は折角の御來臨にも拘りませず設備萬端甚だ不行屆きで御座いますが、第一線將兵の勇戰と困苦戰闘を御偲び戴きまするため陣中の野宴に趣向を採りましたる主人側の微意を御酌みとり下さいまして、ゆる〳〵御歡談給はりましたならば、誠に幸ひとする所で御座います

茲に盃を舉げて皇軍の武運を祈りますと共に閣下並に各位の御健闘を祈り度いと思ひます

京日論壇
心の紐を締め直せ
高宮太平

『勝ちてし止まむ』は日露役で奉天戰の直前、大山總司令官が各軍司令官を集めて訓示したとき古事記を引用した一節である。これが大東亞戰下に迎へた陸軍記念日に一億國民が不退轉の決意を米英擊滅に示すの標語である。言や良し、されど容易に米英を擊碎し得ると思うてはならぬ。彼らの持つ生産力の餘剰さ、敵愾心の旺盛さは、南太平洋に現はれた幾多の海戰における熾烈なる反復反擊で明かな如く、我らはそれに倍した必勝の信念と戰力增強によつて戰はねばならない。第一線の勇士が投げる手榴彈に、敵艦上に加へた荒鷲の體當り自爆に籠つた激怒こそ、一億國民の戰爭信念なのである。しかし戰爭の實態を見よ。大東亞戰爭劈頭における眞珠灣攻擊の壯烈さとその輝く戰果をはじめマライ沖海戰より比島攻略、蘭印攻度諸島の斷定、アリユーシャン列島の確保、ソロモン群島ガダルカナル島に至るまで、大東亞圏内から米英の軍事經濟兩勢力を驅逐せる運擊的作戰の經過は、今日も決戰、明日も決戰といふ實に死鬪、激鬪の一連であつた。御稜威のもとその何れもが皇軍將兵の勇武により赫々の大戰果をあげたといひながら、米英艦隊の姿勢は毎日の決戰であり、日本民族を根こそぎ地球上から抹殺せんとする遠大にして深刻極まる米英の反擊戰に應じた所謂長期戰に突入したのである。これに勝拔かんとする我らの用意こそ一億國民が寸分の時をも忘れてならぬ鐵石の心構へである。

心構へとは何か。第一は前線は忠勇無比なる陸海の皇軍將兵に任せて戰況の一張一弛に動じないこと、第二は軍需資材や食糧の增産など戰力の增強については一億あげて政府の施策に協力すること、第三は思想の防衛即ち思想戰に、神經戰に勝拔くことである。軍需物資その他の生産擴充については國策に從つて職域に忠なることだが、我らが自他共に戒心せねばならぬのは實に第三の思想戰であつて〝黒いご飯で敵の謀略に勝て〟であるのだ。思想戰といつても武器を持つ敵と對峙するのでない。我らの日常生活において身近に押寄せてくる敵の謀略、即ち物と心の兩面に肉薄する變幻極まりなき深刻なる謀略である。寸隙を縫ふ毒針、心魂を麻痺する眼戰の毒藥注入は戰勝を戰敗に覆し、一國を滅亡に追込む怖るべき第一の火蓋であるのだ。

第一次歐洲大戰の例に見るもドイツは武力戰では些かの敗衂も蒙らなかつたが、國内に撒布された敵の思想的謀略瓦斯によつて慘敗を喫したのである。

生きた實例をあげよう。東條首相が何十萬圓かの別莊を造つた。戰時下物資のない折柄怪しからぬといふ噂が以前から傳つてゐた。しかしこの大戰爭を雙肩に擔つてゐる一國の宰相が、假に何十萬圓何百萬圓でもの家を造つてもそれで週末に心身の靜養が出來るなら國民の名において提供する位の溫い心遣ひがあつてもいゝではないか。だが首相の別莊は建坪三十九坪間數は五つである。老夫婦ぐらひの隱居所にしたいといふので大東亞戰爭前に起工したが、資材難で容易に出來ず、竣工した時は首相の職についてゐた。また週末邸といつても五間の家では護衛の警官とか憲兵とかの待合詰所もないので、門脇に十坪に足りない二間の詰所を作つた。これが全部である。恐らく價格に見積つて一萬數千圓であらう。事實と噂の相違は正に斯くの如きものである。何人がこんなことをいひ出したにしろ不用意の一言の恐るべきことの一例で、これでは敵の謀略に引つかかる素質が皆無だとはいへないではないか。我らの嚴に相戒めねばならぬことである。

大東亞戰爭が起つてから三日目英國からの放送に〝日本人は刺身を食ふ。蟹を食ふ。西洋人は食はないが日本人は食ふ。蟹は海の惡魔だ。だから日本人は惡魔だ〟といふのがあつたさうである。蟹を食はうが芋を食はうが餘計なお世話だと思ふが、大きなお世話だけではすまされぬのである。これは敵國に對する憎惡心をかり立て敵愾心を起させる一つの方法として英國の放送を想うて慄然たらざるを得ない。

いふ如く決戰の運命たる大東亞戰爭は、一面に終局を豫想し難き短期決戰と長期持久戰との複合形態の性格があるのだ。この條相を明確に把握し、長期對戰の信念、米英擊碎まで斷じて退かぬ勇猛心をもつて思想防衛にも、當らねばならぬ。百年戰爭來れ。我らの祖先はアイヌ同化に七百年戰つた。ペルリ來航から大東亞戰爭までを顧みよ。少くとも滿洲事變から十二年目である。立派に長期戰に堪へ得たのだ。今にして思想戰に敗れんか、何をもつて前線の勇士に應へ得よう。

建國の昔に、神武天皇が日向を御發になつて、橿原に宮居を御建てになるまでに十數年を經過してゐる。今日からみれば九州からさほど遠くもない距離であるにかゝはらず、その間兵を御進めになつて備前の高島に御駐りになり長期に亘つて兵を養ひ民力を涵養し、そして從來既はなかつたものを訓練され、其あとの統治をも十分遊ばされた。さうしてはじめて難波に御上陸になつたのだ。長期戰の戰略をおとりになつたのである。この聖業に對し奉り我らの先祖は一言句の不平もなければ不滿もなく、悉く皇室に一身を捧げてこの大事業を完成してゐるのである。今こそ一億一心聖戰完遂に邁を擦け、日常生活に不便が多いとか、將來に對する危惧だとか、些かでも敵國の謀略に乘ぜられる如き言動があつてはならぬ。一度び口を衝いて出た言葉は弦を離れた矢である。如何なる時と所を問はず不用意の言動が怖るべき結果を誘引することを思ひ日常の言動に些かの緩急も許されないのである。

【筆者は本社々長】

嚴寒の戰野に挺身 敵の蠢動を許さず
二月華北戰況

【北京七日同盟】北支軍では七日二月中の主要作戰狀況を次の如く發表した

二月中における主要作戰狀況＝北支周邊蔣系軍は西南ビルマ方面における反攻企圖に呼應して、わが占領地に對し輪流出擊を試みんとしあるもわが一見必殺の陣容の前に蠢動見るべきものなく、返つて中支方面の春季進攻作戰とこれに策應するわが進攻に戰々兢々たる有樣なり、共匪軍は舊正月前後に多少の蠢動を企圖せるが如きも、わが積極不斷の討伐と至嚴なる警戒とにより概ねこれを封殺し得たり、過般の國民政府參戰により抗戰の名目を喪失せる敵は苦肉窮餘なる逆宣傳に必死となりをるも、更生新中國官民は確固不拔の決意をもつてこれに對處する思想戰ならびに武力戰を全華北に展開しあり、とくに近時治安軍その他中國側武裝團體の活躍目覺ましく、北支の肅清建設に貢獻するところ極めて大なり、嚴氣嚴しき戰野に挺身する皇軍將兵を初め、これら戰苦想像を絕するものあり、二月中の主要作戰狀況左の如し

河北省北面 一月下旬開始される冀西作戰は、二月上旬累幕(石門北方三十キロ)共産軍主力を潰伏せしむるとゝもに、同じく上旬燕京道東部地區滿華國境に共産軍第十三團匪を關東軍との緊密なる連繫のもとに擊破せるほか、各所に冀東共産軍再建の企圖を破摧せり、昨年六月以來冀勃特別行政區設定し、治安建設の進捗中なりし冀中平原は軍、政、會、民の活動によりその面目を一新しつゝあり

山東省方面 魯北渤海河北部、武定周邊地區の蔣共兩軍に對する作戰は二月に入りいよいよ熾烈なる殲滅戰を展開、各所に敵を捕捉し引つゞき戰果を擴大中なり、更に魯南地區費縣南方において蔣系第三三七旅を潰滅したるほか中旬魯中山嶽地帶城・長山(沂水東北方五五キロ)周邊地區に蔣系第一一三師ならびに匪進第二縱隊第文體匪を攻略して師長韓子幹及び偽文體を捕虜とせるを初め、そのほか幹部多數を捕虜或は戰死せしめ遺棄死體、俘虜合計二千餘の赫々たる戰果をあげたり、魯西地區に於ては下旬韓集(陽穀北方七〇キロ)周邊にて共産軍教導七旅約三千を潰滅せしめたり

河南方面 再び北上を企圖せる蔣系第九十二軍を、中旬馬良集(魯山西北方一八キロ)東南地區において邀擊し、これに大打擊を與へ再度その企圖を挫折せしめたり

山西省方面 下旬第十八集團軍第一分區軍を沁源地區に捕捉、副司令を戰死せしめたるを初めこれに文字通り殲滅的打擊を與へたり

梅田隊に賞詞
山東剿共作戰に偉勳

【北支〇〇前線七日同盟】わが梅田討伐隊は昨年十月下旬山東對峙山周邊共匪軍殲滅戰に決死突擊を敢行し、遂に山東縱隊が不落の要害と豪語したトーチカ陣地を一擧に殲滅したが、この偉勳に對して部隊長は左の如き賞詞を授與した

賞詞 梅田隊

右は昭和十七年十月下旬〇〇部隊が實施せる魯中、魯山剿共作戰に當り、特に陸軍中尉梅田一郎以下同部隊に配屬せられるや爾來二旬餘峨々たる山岳、嶮難なる地帶に活躍し、部隊の作戰に貢獻せるところすこぶる大なるものあり、なかんづく對峙山附近の激戰において逸脫を企圖せる山東縱隊の一部を追及、これを馬蹄峪附近に捕捉殲滅せしめ、また馬鞍山の戰鬪において標高七百メートルの險峻に據る山東縱隊四旅の一部に對し、地勢の不利を克服し激闘遂にこれを拔き同地區共匪策動の本據を覆滅したり、右は隊長梅田中尉の適切勇敢なる處置と、隊長以下忠勇武、疲れてのちやまざる旺盛なる責任觀念により逡巡なく攻擊精神の精華を發揮せるものなり、よつてこゝに賞詞を授與す

昭和十七年十一月十二日 奧村部隊長

師範教育令公布
四月一日施行

【東京電話】師範教育刷新の根幹をなす師範教育令は八日附官報をもつて公布されたが全文は左の如くである

第一章 師範學校

第一條 師範學校は皇國の道に則りて國民學校教員たるべきものの錬成をなすをもつて目的とす

第二條 師範學校は官立とす

第三條 師範學校は男子部および女子部を置く、但し土地の狀況により男子部または女子部のみを置くことを得、各部に本科および豫科を置く、但し土地の狀況により本科のみを置くことを得

第四條 本科の修業年限は三年とし、豫科の修業年限は二年とす

第五條 本科に入學することを得るものは當該學校豫科を修了したるもの、中學校を卒業したるもの、または文部大臣の定むるところによりこれと同等以上の學力ありと認められたるものとす、豫科に入學することを得るものは國民學校高等科を修了したるもの、または文部大臣の定むるところによりこれと同等以上の學力ありと認められたるものとす

第六條 師範學校の編制、教員、設備、教科、教科用圖書、生徒の入學、退學、懲戒、學資の給與および卒業後の服務などに關する規程は文部大臣これを定む

第七條 師範學校においては授業料を徵收せず

第八條 師範學校には師範學校を卒業したるもののために研究科を置くことを得、研究科に關する規程は文部大臣これを定む

第九條 師範學校に附屬國民學校を置く、特別の事情ある場合においては國民學校をもつて附屬國民學校に代用することを得

第十條 國民學校令第一條乃至第四條、第五條第一項および第三項、第六條、第七條、第十四條ならびに第二十條の規定は附屬國民學校にこれを準用す、幼稚園令第一條、第六條および第十三條の規定は附屬幼稚園にこれを準用す

第十一條 附屬國民學校の兒童の入學および附屬幼稚園の幼兒の入園ならびに保育料などに關する規程は文部大臣これを定む

第二章 高等師範學校および女子高等師範學校

第十二條 高等師範學校は皇國の道に則りて中學校および高等女學校の教員たるべきものの錬成をなすをもつて目的とす

第十三條 高等師範學校および女子高等師範學校は官立とす

第十四條 高等師範學校および女子高等師範學校の修業年限は四年とす

第十五條 高等師範學校に入學することを得るものは師範學校を卒業したるもの、中學校を卒業したるもの、または文部大臣の定むるところによりこれと同等以上の學力ありと認められたるものとす、女子高等師範學校に入學することを得るものは師範學校女子部を卒業したるもの、高等女學校を卒業したるもの、または文部大臣の定むるところによりこれと同等以上の學力ありと認められたるものとす

第十六條 高等師範學校および女子高等師範學校の學課に關する規程は文部大臣これを定む、第六條および第七條の規定は高等師範學校および女子高等師範學校にこれを準用す

第十七條 高等師範學校および女子高等師範學校には研究科を置くことを得

第十八條 高等師範學校に附屬中學校および附屬國民學校を、女子高等師範學校に附屬高等女學校、附屬國民學校および附屬幼稚園を置く、特別の事情ある場合においては公立の中學校をもつて附屬中學校に、公立の高等女學校をもつて附屬高等女學校に、國民學校をもつて附屬國民學校に、公立または私立の幼稚園をもつて附屬幼稚園に代用することを得

第十九條 中等學校令第一條、第二條第一項および第二項、第七條ならびに第十一條の規定は附屬中學校および附屬高等女學校にこれを準用す、第十條および第十一條の規定は附屬國民學校および附屬幼稚園にこれを準用す

附則

本令は昭和十八年四月一日よりこれを施行す、本令施行の際現に從前の規定による師範學校に在學する生徒は、文部大臣の定むるところにより師範學校の生徒となるものとす、師範學校男子部本科の修業年限は昭和十八年度および昭和十九年度に卒業すべき生徒については六月これを短縮す、昭和二十一年度までに師範學校女子部本科に入學したる生徒(文部大臣の定むるものを除く)については修業年限は第四條の規定に拘らず二年とす、師範學校女子部においては當分のうち文部大臣の定むるところにより師範學校女子部を卒業したるもののために專攻科を置くことを得、昭和十九年までに師範學校豫科に入學したる生徒(文部大臣の定むるものを除く)についてはその修業年限は第四條の規定に拘らず三年とし、從前の規定による師範學校を卒業したるものとす、本令施行の際現に存する高等師範學校の修業年限二年の學課は、現に在學する生徒について之を存置することを得、本令施行の際現に高等師範學校附屬中學校、女子高等師範學校附屬高等女學校に在學する生徒(文部大臣の定むるものを除く)についてはその修業年限は第十九條第一項において準用する中等學校令第七條の規程に拘らず仍ほ從前の令による

米連敗を糊塗
損害小出し發表

【ブエノスアイレス五日同盟】米政府は五日戰時情報局から開戰以來の綜合戰果ならびに損害につき

一、國巡艦二十二隻その他各種艦艇四十九隻を喪失

一、各種艦艇十三隻未歸還

一、拿捕を免れるため自沈九隻

の損害を受けたに過ぎないと發表したが、これと相前後して海軍長官ノックスは同日記者團との會見で、尨大な數をあげて海軍力の增強を呼號した、たゞしこれは米政府が開戰以來の敗戰被覆主義により戰爭政策と國内輿論緩和に苦慮した結果の窮策として敗戰の過を國民が忘れかけた頃にポツリポツリと小出しにして發表し、その眼を蔽はんとしてゐることは明かなところである

戰刑法案無修正可決
翼政會態度決定

【東京電話】衆議院最後の難關たる戰時刑事特別法中改正案を繞る翼政會の態度を決定する爲め代議士會を開いたが、同法案審議の愼重を期すべきであるとして代議士會の一部に反對論があり、六日の議員の一部に反對論があり決定に至らず、八日の本會議に持ち越す結果となつたが、七日役員會の決定通り八日の本會議に緊急上程、政府原案通り無修正可決成立せしめる方針を改めて確認した

一方政府は東條首相以下全閣僚は日曜にもかゝはらず七日午後一時より首相官邸に參集各方面の情報を綜合して之れが對策につき協議を遂げた、この結果政府としては同法案委員會における一部修正論に對しては絕對不可侵の法案として愼重準備を遂げて提出した同法案があくまで無修正をもつて原案通り可決成立することを期待し、かつ確信するとの態度を決定、同三時過ぎ散會した

けふの兩院

貴族院 本會議＝なし、午前十時より都制案委員會を開く

衆議院 本會議＝午後一時から、委員會は午前十時開會

實費の保險
7
昭和十六年度御加入者の本年度(第三回目)御拂込額は下記の如く決定致しました
30年滿期・1000圓に付
10才 24.42 20才 26.12 30才 27.20
35才 29.50 40才 33.35 45才 39.33
相互組織 千代田生命

うつづ 熱ぜか
治療劑 清美散
大阪市天王寺區工營町 本舗 佐藤ライト商會

教育科學社 東京小石川林町七〇 振替東京五〇八二一
東京高師教育二十數氏執筆
國民學校叢書
國民學校教育原論 國民學校經營原論 國民學校衛生原論 設備精義 訓練精義 音樂精義 算數精義 國史精義 話方精義 理科精義 工作精義
地理精義 讀方精義 修身精義 綴方精義 體操精義 柔道精義 劍道精義 習字精義 家事精義 農業精義 商業精義

主宰 財團法人 機械化國防協會
機械化 3月號 五十錢 送四錢
朝鮮版 三月一日發賣
陸軍記念日特輯
西方戰場に於ける戰車戰 獨逸陸軍ボルヘルト少佐著 陸軍機甲本部譯 A5判 一四五頁 價一・〇〇
日本發明科學者傳 瀨戸口貢雄著 A5判 價一・八〇
國民兵器讀本 B6判 價二・〇〇
現代の父 レオナルド・ダ・ヴィンチ 伊太利大使館推薦 B6判 價二・二〇
溫度の科學 B6判 價二・〇〇
自動車と朝鮮 電氣と電氣兵器
山海堂 東京神田神保町 振替東京21691 朝鮮支社 京城府長谷川町 商工會議所ビル

學生 三月號
入學試驗に臨む學生へ
國史と理科の總整理
學制改革の全貌
これから出願できる學校
定價四十錢
學生文庫 萬葉集 百人一首 (各價五十錢) 三月中旬發賣
研究社發行

松山房
御歴代詔勅謹解
香港海南島の建設
改訂 海南島志
水の經濟學
土地制度研究
農業土木行政
小作權
米穀配給の研究
食料品事典
アラスカ
東京市神田區猿樂町二ノ八 振替東京六八四〇六番

社説 佛印の對日經濟協力

一

日佛印經濟協定に基く本年度實施項目取極め並に日佛印經濟關係の緊密圓滑化を目的とする佛印現行法規及び日佛印間現存條約協定の適用改訂に關する諸協定が四日成立した。洵に慶賀に堪へない。昭和十五年九月日佛印間に締結された[illegible]の軍事協定に引續き交渉が開始された日佛印經濟協定は昭和十六年五月彼我の間に成立せる所謂日佛印經濟協定によつて一應の基礎を築いたのであるが、今回の取極めは實にこの經濟協定の仕上げを行つたものであつて、日佛印間の經濟關係はこゝに足かけ四年振で懸案を解決、兩國緊密なる提攜の下に新しく發足することゝなつたわけである。これはひとり日佛印間將來の國交の上に大なる意義を有するのみならず、帝國が構想する大東亞經濟建設の第一着手であるといふ意味において、正に特筆大書さるべきものであらう。

二

經濟協定今年度實施項目取極めは去る一月廿五日發表された米、玉蜀黍に關する佛印の對日供給量決定に引續く殘餘の物資品目に關する取極めであるが、注目されるのはこれら物資の對日供給量が昨年度より増加したこと及び新しき品目の追加である。即ち松脂、黄麻などの重要物資は昨年度より供給量が増大されて居り、燐灰、獸骨、五倍子、ケイジョー皮など昨年の取極め品目中になかつたものが本年度は追加されてゐるのである。これらの重要物資はいふまでもなく我國にとつては必要缺くべからざる戰爭物資であつて、これが輸入によつて、我が戰爭生産に大なる寄與をなすべきは言を俟たず、我々の期待また極めて大なるものがあるのであるが、こゝに忘れてならぬことは佛印當局がそれほど對日經濟協力に熱意を示し、貢獻なる考慮を加へつゝあるといふことであつて、佛印の經濟再編成が對日寄與主義に重點を置き換へつゝあることを我々は感謝の念を以て眺めるものである。

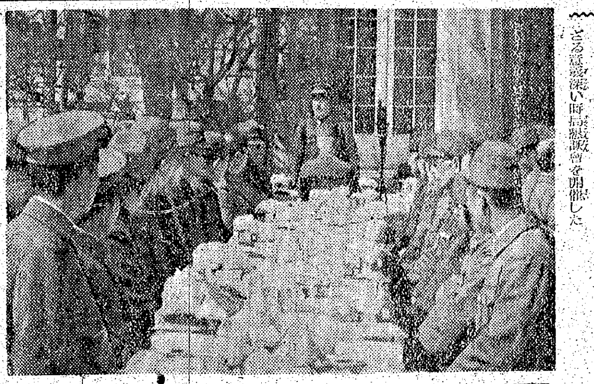
三

次に今回の日佛印經濟新協定に於て見逃がし得ぬことは兩國經濟關係の新たな基礎にたつ緊密強化方法である。この内容は佛印に於ける現行法規並に昭和十六年五月六日の成立にかゝる佛印に關する日佛居住航海條約及び日佛印間關稅貿易及びその決濟樣式の改訂であるのであるが、具體的には、これによつて邦人の佛印入國査證の簡略化、邦人の佛印に於ける營業權、企業權、居住權の保障、在佛印邦人商社の邦品輸入の上に於ける差別待遇の撤廢など佛印自體の行政的措置によつて、全面的に帝國の特殊權益を認めたわけであつて、從來日佛印關係推進の上に支障となつてゐたものを大半是正したところにその意義が深い。要するに佛印間の經濟協力の措置は日佛印間の經濟協力を一段と促進するに於て斷乎的な實効をもたらすべきは勿論ひいてはこれを基石として帝國の東亞經濟建設の工作が著しく進展すべきことを信ずるものであつて、我々は佛印が今にして帝國の眞意を諒解し、その信念の上に於て、對日協力態度を一段と强化したことに滿幅の敬意を表すると共に、その更に對してはまた帝國として、酬ゆべきもの多々あることに思ひを致し、相共に攜へて大東亞經濟新秩序建設に一層邁進するの熱信と責務を痛感するのである。

教育半島の決意
誓つて皇國の急に應ず
陸軍記念日教育者懇談會

優勢なる來るべき決戰を控へて國防線にたつ第一陣、第二陣を養成して送り出す聖職を擔當する全鮮の大學、高專專門學校、京仁一帶各學校長に對し感謝の意を表すると共に軍の要請を傳へるために第卅八回陸軍記念日を控へ朝鮮軍では篠田城大總長以下三百餘名の會同を求め、大野學務局長、高[illegible]京畿道知事、古市京城府尹ら臨席して七日午前十一時から龍山偕行社に於て兒童教育者懇談會を開催した

開會に先立ち會同者全員は偕行社本館階下に設けられた衣糧、兵器、衞生、獸醫資材甘藷類の展觀會場を參觀、近代戰が要請する補兵全能力發揮のための衣糧に眼を瞠はれ北方圈、南方圈の廣汎な戰線に活躍する皇軍を蔽ふ衣糧について如何なる努力苦心が拂はれてゐるかを知り、また新兵器の威力、衞生材料に最新醫學の粹が蒐されてゐるのに驚くなど、いづれも眞摯な熱意である、次いで午前十一時會員起立のうちに板垣軍司令官入場、宮城遙拜、戰歿の忠烈英靈の冥福を祈つて井原軍參謀長起つて明年度より愈よ朝鮮は晴れの徴兵制實施を控へ教育者としての責務の重大が負荷され、また次代を背負つてたつ國民錬成に要求されてゐる苦心に對し感謝する、決戰下不動の覺悟をもつて皇民魂の育成に一段の努力を希望する旨の挨拶を述べ、次いで多田參謀の講話に移り赫々たる皇軍の戰果による現在の我が戰局狀況から獨ソ戰、北阿戰の現狀、敵側の國民生活に言及し、われもかゝるあらゆる艱苦を決しく勝つための國民生活の樹立を強調、教育者の責務は極めて重要である


挨拶する板垣軍司令官 ＝教育者懇談會にて＝

と説き、次いで日露戰爭當時の皇國の情勢、世界情勢と今日の皇國の位置する世界勢力に對應する國民の決意を促し、明年度實施の徴兵制に擔はされた教育者の職責

と一億總進軍戰勝への途を述べ酒宴一時間餘に亙つて懇話し會同者一同に非常な感銘を與へた、かくて午後一時會場を南庭に移し、設けられた野戰宴に着き板垣軍司令官から皇國の興廢を決する大東亞決戰の時期に際會し、今こそ勝ちて止まんの火と燃える熱意に起ち上り光輝ある第卅八回の陸軍記念日を迎へ大東亞建設の礎石たる陣歿十萬の英靈の偉勳を偲び、勝ち拔くために教育者各位の協力を要請する

遂行に期待するところまた大なりとの懇切なる挨拶を述べたに對し篠田城大總長起ち據つて皇國の急に殉ずる旨の答辭あり、銀盃、野戰に移つた、終つてのち陳列兵器を見學、偕行社本館にて『獨ソ戰と聯盟經濟の自給』の映畫を觀賞午後四時過ぎ意義深い懇談會を終了した

大東亞建設造林 忠北で十年計畫

忠北道では總督府の方針に順應し明年度から十年計畫で大東亞建設造林を施行することになつた、この計畫は補助造林とは別個に一ケ郡につき毎年、最少限六町歩以上道內百六十町歩、十年間に一千五百八町歩にわたつて毎年カラマツ二十萬五百本、ソギダマツ一萬一千本、チキウセンマツ二萬五千本、クヌギ十二萬三千本計三十五萬九千五百本を國有林野所有者に植栽せしめんとするもので第一年目の十八年度には二百十一町歩にカラマツ二十一萬三千本、クヌギ三十萬三千本を四月三日から一週間に植栽せしむる計畫である

總力運動功績者
けふ大詔奉戴日に表彰

二月十一日の紀元節において總力各道聯盟が管下各府、邑、面、部落聯盟の優良部落および個人表彰を行つた中から選り拔いて、さらに朝鮮聯盟小磯總裁の名をもつてこれに最高の賞詞を與へる『總力運動功績者表彰』は八日の大詔奉戴日を期して行はれることゝなつたが、表彰狀に添へ一團體[illegible]圓、聯盟員一人に付[illegible]圓の表彰金が與へられることになつてゐる、なほ表彰をうける聯盟は六十九聯盟、聯盟員は六十名となつてゐるが、傳達式は當日各道毎に行はれる、今回表彰をうける聯盟および聯盟員は次の通り

聯盟

▲京畿道＝京城府旭町二、三丁目、開城府滿月町第三區、抱川郡蒼山面三政里長子洞、龍仁郡遠三面佐岡里佐而部落、仁川府仲町

▲忠北道＝淸州郡覺龍面達溪里中[illegible]村部落、忠州郡忠州邑本町、槐山郡沼壽面[illegible]洞部落、永同郡鶴山面鶴岩里[illegible]項部落、丹陽郡佳谷面大大里德坪部落第一愛國班、沃川郡安內面莫只里莫只部落第七愛國班

▲忠南道＝大田府榮町二丁目、大德郡炭洞面新峰里錦岸部落、燕岐郡全東面[illegible]長里中區長里、瑞山郡地谷面長[illegible]里[illegible]村部落

▲全北道＝完州郡參禮面九橋里淸湧部落、淳昌郡淳昌面淳化里玉川洞部落、井邑郡徳川面[illegible]山里有[illegible]部落、高敞郡高敞面徳山里第三區部落、鎭安郡白雲面[illegible]松里斗光部落、群山府田町

▲全南道＝谷城郡梧谷面[illegible]川里[illegible]川部落、木浦府大正町第二十一區、長興郡冠山面[illegible]村里第二區、光州府本町、[illegible]州郡多侍面永洞里[illegible]岩部落

▲慶北道＝大邱府旭町聯盟、榮州郡榮州邑下望里西區部落、醴泉郡醴泉面[illegible]部落、[illegible]山郡孤山面三德洞三區部落、[illegible]山面[illegible]洞第一部落、永川郡[illegible]陽面[illegible]部落、[illegible]谷郡北三面東洞第二部落

▲慶南道＝金海郡金海邑[illegible]岩里佛岩區部落、[illegible]山郡彥陽面[illegible]泉里米淵部落、梁山郡下北面曹池里內部落、居昌郡馬利面[illegible]里柄項部落、固城郡永縣面蓮花里一區部落

▲黃海道＝延白郡銀川面鶴岩里第[illegible]岩區部落、[illegible]

▲平南道＝[illegible]

▲平北道＝[illegible]

▲江原道＝[illegible]

▲咸南道＝[illegible]

▲咸北道＝[illegible]

聯盟員

▲京畿道＝水原郡[illegible]

▲忠北道＝[illegible]

▲忠南道＝[illegible]

▲全北道＝[illegible]

▲全南道＝[illegible]

▲慶北道＝[illegible]

▲慶南道＝[illegible]

▲黃海道＝[illegible]

▲平南道＝[illegible]

▲平北道＝[illegible]

▲江原道＝[illegible]

▲咸南道＝[illegible]

▲咸北道＝[illegible]

週間世界の動き
ソ聯、米英と對立化
縺れる波蘭國境問題

日本で餘り一般の興味を惹いてゐないが、歐米諸國で最近最も大きな問題の一つとなつてゐるのは新ポーランド國境を繞る

ソ聯と亡命

ポーランド政權との紛爭である、事の起りは亡命ポーランド政權代表のシコルスキーが、突然『ポーランドは一九三八年八月の國境線回復を要求する』といひ出したのにある、察するに今次冬季作戰でソ聯が一時的優勢を占め、ひよつとすると又もや舊ポーランド國境を突破するかも知れない情勢を見たことが、このシコルスキーの聲明となつたものと見られる、つまり亡命ポーランド政府は大西洋憲章の趣旨に則つてソ聯が嘗て侵入したポーランド東半の回復を要求しない以前にソ聯の再度の侵入に豫防線を張らうとしたわけである、ところが豈圖らんや同じ大西洋憲章の署名國であるソ聯邦が、このシコルスキー

聲明に猛烈

に反對を表明しソ聯は戰捷の曉までポーランド東半の領有を行ふべきことを主張した、このソ聯と亡命ポーランド政權との論爭は段々擴大して最近では米英までこれに介入し遂にポーランドの主張に肩を持ちソ聯に喰つてかゝると思へば或は逆にポーランドを慰留するといつた態度に出始めた、その經緯を一々こゝに再錄しても餘り興味もなからうから一應にして問題の本質を取上げるとしよう、一體未だ現實の問題となつてゐないソ波國境問題がなぜ斯くも大問題として波紋を捲き起したのか、又他國同志の非現實的な紛爭になぜ米英が躍起になつて介入してゐるのか

問題の重點は紛爭の内容にではなく、寧ろその背後にひそんでゐるのである、これは問題の生起する以前の

米英對ソ聯

の關係を回顧して見ると極めて明瞭になる、ソ聯が示した豫想外の反撃力に對して誰よりも狼狽したのは實はドイツではなくて米英だつた、萬一ソ聯が歐洲の支配力を確立したらドイツ以上に米英にとつて脅威となる、そこで何んとか對策を講じなければならないわけだが、さりとてソ聯を立腹させて味方の陣營から切離す措置を取るのは現實の事態では米英の望まざるところである、さうした米英の焦慮は早くも言論界において今年初頭以來屢々『ソ聯を牽制すべし』との論調が現れつゝあることによつても明瞭に知ることが出來るのであるが米英政府はこれに對して何等妥當なる措置に出ることも出來ずにゐた、しかし彼等は惱み拔いた擧句にこの上ない名案を發見したのである、つまりソ聯の歐洲進出への防塞として

亡命政權と 大西洋憲章

を利用することである、シコルスキー聲明のからくりとこれに米英が必要以上の介入をやつてゐる眞の理由はこゝにあると見て差支へない、更に前述の如き說明を行ふまでもなく、抑々亡命ポーランド政權が英國の掌の下に米英の扶持を食み且つ米英の諒解なしには何事も出來ない現狀にあるを考へると、シコルスキー聲明の本質が何んであるかは一層明瞭となるであらう

以上の意味でソ聯對亡命ポーランド政權の國境紛爭事件の成行は頗る興味があり注目に値する事件である、それは嘗て問題になつた北阿の

傀儡政權

をめぐる米英の對立以上に深刻なソ聯對米英の對立を暴露するものであり要するに反樞軸國間の結合が如何に脆弱極まるものであるかを立證するものといひ得よう

◇……敵國内部のかゝる内紛と其に反して樞軸陣營の結合の强固さを保障したものは先月廿四日から廿八日に亘るリッベントロップ獨外相のローマ訪問だつた、これより先、イタリー內閣の大改造があつたり米特使スペルマンのバチカン訪問があつたりしたことにかこつけて米英側では特に

獨伊の離間

放送を行ひ今にもイタリーが對米英戰線離脱を行ふかのやうな印象を與へることに努めたものだが、彼等の空頼なる宣傳はドイツ外相の訪伊行によつて粉碎せられ、兩國の發明によつて完全に粉碎されたのである、獨伊の聲明によるとローマにおいては單に當面の戰爭遂行についての密接な話合が行はれたばかりでなくさらに一歩を進めて、歐洲の戰後經營問題についても完全な意見の一致を見たといふ、さういふ會談は行はれたといふ以上に、敵側の誇示するカサブランカ會談以上に遙かに大なる成果を擧げたものと言ひ得よう、さらにローマ會談は最近の東部戰況

北阿戰況

と相俟つて樞軸側にとつての好轉を示し敵側にまたもや悲觀說の擡頭を促しつゝあるかのやうである、例へば最近米英の論調の中にドイツの食糧や石油の自給狀況が案外良好であるとの警告や米英の船舶事情を訴へるものが急に目立つて來たのがそれである、米英側の宣傳方法はいつもかういつた調子のもので樂觀的に戰局の前途を見るかなりに悲觀しなければならないいろいろな原因だけを

强調するの

が常である、つまり戰局のはかばかしくない狀況を受けて來ると今度は敵側に悲觀論が起り始めるものである、最近米國石油調整官イックスは某誌に論文を寄せて『昨年度のドイツの石油額は一九三八年の四倍になつたばかりでなく更に今年は人造石油生産で新記錄に達する筈である』と述べ、また米國戰時情報局では各種の統計を掲げた上で『結局ドイツの食糧事情は一、二の特殊なものを除く以外殆ど戰前より良好である、今後もこの狀態を維持出來るだらう』といふ發表を行つてゐる、そのため手持の兵力は豐富であるが大きい』ことを强調したり『ドイツの

石油と食糧

が窮迫して來るだらう』といふ悲觀を行つてゐる、又英海相アレキサンダーや米英合同海運調整局の英代表サー・ソールターなどがこのころ急に思ひ出したやうに『船舶の不足が意識的であるいは米英の戰爭遂行の活躍が致命的』と口を揃へてゐる、ドイツ崩壞論の根據だつたことのある米英の作戰で北阿戰況の不振と第二戰線の困難な實現の見込なしと、これらの論調は反樞軸側の最近の不振を最も端的に表明するものである

米の野望を暴露
ウエルズ侵略性を陳辯

【ブエノスアイレス六日同盟】アメリカ國務次官ウエルズは六日の記者團會見で次の要旨の聲明を行ひ最近行はれたアメリカ政府首腦の聲明その他に基づきアメリカが西半球における軍事基地の永久領有を策してゐるとの噂がまことしやかに流布されてゐるがかゝる事實は全然ない、アメリカが中南米諸國に軍事基地を租借したのは一九四〇年七月ハバナに開催された汎米外相會議の決議に基づく純然たる共同防衛の精神から出發したもので、戰爭期間中のみ米軍により使用されるが戰後には當然返還すべきであり、アメリカは中南米諸國の領土主權を侵犯する意思は毛頭ない、次で西印度諸島における軍事基地も同じ趣旨に理解してよいのかとの質問に對してはウエルズは特に語氣を强めて右述べたことは專ら中南米諸國のみに關するものであつて、イギリス領西印度諸島の場合は別問題であると述べアメリカの帝國主義的野望を暴露した

米勞働者缺勤 轉向續出

【ブエノスアイレス六日同盟】ニユーヨーク來電＝アメリカ海軍艦船局長エドワード・コクレンは六日フイラデルフイヤにおける巡洋艦デストリヤ號の進水式において次の如く述べたと傳へられる

海軍艦船の建造に當つてゐる造船所の缺勤轉職問題は改善の兆がないのみか却つて惡化の一途を辿つてゐる、昨年十二月一ケ月のみでもこの缺勤によつて一千三百萬時、即ち巡洋艦二隻を建造するに充分なる勞働時間が失はれたが、さらにそれにも增して重大な支障を與へてゐるのは、事前に何らの豫告なく轉職する勞働者の多いことである、職業交替日には殆ど毎日が休止狀態になることから見ても、これは勞働者の時局認識不足から來てゐることは明かで、かゝる事態に對しては海軍當局としても寛大な態度を持ちつゞけることは出來ない

ゴ中將復活

【リスボン六日同盟】ワシントン來電＝米海軍省は昨秋ソロモン水域における敗戰の責任を問はれて罷免された前南太平洋艦隊司令官ゴームリーを第十四海軍區司令官に、少將パクレーを第十二海軍區司令官にそれぞれ任命した旨發表した

國民貯蓄に偉勳
京城旭町二、三丁目聯盟

表彰される京城府旭町二、三丁目町聯盟は醫師瀬戸潔氏が町總代で顧問議員岩村秋治郎氏と事務員で町內三區三十七班、三百八十五世帶(千九百名)を切り盛りし愛國班の細胞組織に完璧の運營を擧してゐる、特筆すべきは昭和十三年八月町聯盟貯蓄組合を結成、勸誘額二十萬圓を完遂したほか同十七年八月には國民貯蓄組合を結成、同年十二月末までに南大門金融組合に十七萬圓、後援金融組合に六萬六千八百圓、國民貯蓄の現在高四萬圓に及んでゐる、このほか京城唯一の[illegible]組合圓際拂込みとして同十六年六月結成以來同十七年十二月末までに二萬一千四百圓の拂込みを終り、五分の手數料として得た町會の收入千二百圓は防空資材費に當てゝゐる、昭和十五年五月以來毎水曜日を『感謝貯蓄の日』として各戶必ず十錢の貯蓄を行ひ中央郵便局の三年運營としたがこの額二萬三千圓があり、町會の國債消化は昭和十四年から同十七年末までに五萬一千八百圓、貯蓄累計は十三萬圓に及んでゐる、この他赤十字社員四百三名をもち、その會費納金四萬圓に達してゐるといふ

知事賞二回 府尹賞五回
仁川仲町聯盟

仁川仲町々聯盟は澁谷百太郎氏が理事長で今日まで知事賞二回、府尹賞五回をうけてをり、貯蓄は國債消化を加へて目標額卅九萬圓に對し二月末現在四十六萬八千圓に達し、更に五十萬圓達成に全町員をあげて邁進してゐる

名愛國班長
熊本米吉翁

表彰された熊本米吉氏は宮町聯盟の愛國班長で今年六十四歲の高齡、防空指導員として率先鄕土防衛の任に當り、また私財を投じて班の防空施設強化に、貯蓄の増强に率先躬行、宮町々聯盟が優良町として今日表彰されてゐる所以も氏の力が與つてゐる【寫眞＝熊本米吉氏】

滿洲國協和會要綱決る

【新京七日同盟】滿洲國協和會では滿洲國政府の基本國策大綱を實踐に移すべく、その重要方針たる協和會運動基本要綱作成につき慎重審議中のところ、五日の同會中央本部委員會において決定を見たので七日運動基本要綱を發表し今回規定をみた基本要綱は過去十年の實績を基調として戰時下當面の重要問題に對處する重要運動方針を明示したもので

一、建國精神の徹底顯揚による國民精神の發揚

一、民族協和工作の適切な實施による民族協和の實踐

一、協和會運動を中軸とする綜合的國民厚生の確立

を目標に物心兩面より國民總動員態勢を完成せんとするもので第二建設の段階に入つた滿洲國今後の政治的發展に及ぼす影響は極めて大なるものがある

瀬戸潔氏語る

文字通り十年一日の如く町内のお世話をしたに過ぎません、三百八十五戶、一千九百名が一軒の家を爲して和氣靄々のうちに愛國班運動に挺身してゐます『町會は親切』を標語に掲げ日曜も岩村さんが頑張るといつた意氣です、町內は一家ですから家庭的な問題から代書に至るまで引受ける熱意を傾け[illegible]町會を信賴してくれてゐます、かくてこそ戰勝に金屬回收に赤十字社運動にその他凡ての愛國班運動に挺身の勝利を期し得る譯で今後益々努力挺身する考へです

隨想錄

府民館の前に長蛇の列を作つて居るのを見て何か立派な演奏會でもあるのかと感ふと、これは多くの場合、演劇か映畫に殺到した群衆である▲戰時下においても、健全な娛樂が必要であることはいふまでもない。また娛樂を持つことによつて積る疲れを拂ひ、明日への元氣を蓄ふことが出來もするのであるが、過ぎたるは及ばざるが如しと思ふ▲白晝、女子供でない青壯年が、劇場や映畫館の前に身を縮して居ていゝか、これは銃後から指摘されるまでに、自ら省みるべきである。戰時下でなくても、太陽の出づると共に起きて働くのは人間の義務であり權利である▲市街の清掃が問題となつたとき、[illegible]を運び去る爲に使用する人間が足らぬといふことであつた。然るに、劇場や映畫館の前には、何時間でも立つて開場を待つ人間のあるのはまことに皮肉な現象であると云はねばならぬ▲飛行機を製作する爲に鐵を、彈丸を作る爲めに銅を、今の日本はいくら入手があつてもなほ足らぬ狀態にある。しかもそれは『ひとごと』でなく自分の肩に火のついてゐることである▲素人が何の訓練も受けずに飛行機工業の面には出て行けない。それならば、遊ぶのになほ日の足らぬ事を砕いて、白晝劇場の前に列を作る人達は進んで、その訓練を受けるべきであらう▲南方開發の爲にも人はどれほど必要であるかわからない。だが、この方面とても『行ける資格』が必要である。その資格は他に作つて與ふものでなく、自分で自分を訓練して作るものである▲野に遺賢なからしむるのが大切であると共に、一人も徒食する者があつてはならぬ時である。立ん坊をする人達よ、速やかに廻れ右をせよ。

『朝鮮の本義と道義朝鮮』本日記者病氣のため休載

決戰！決戰
頑張れ示せ國民の底力
○決戰體制下の生産增强に郵便貯蓄
○國債貯蓄は米英撃滅の源泉
京城府明治町二
秋田證券
電話本局②五一一五五

かぜに熱に
のむとすぐきく!
別府散はイタミある病、ネツのある病にキ、メ早く副作用絕無なれば安心して感冒、頭痛、齒痛、神經痛、リウマチ、喘息等の痛等が出來る。
別府散

何時までも若く美しく、朗らかに元氣一杯働き度いのは、誰しも望むところです。美容法や精神的な訓練もさることながら、何と申しましても一番根本になるものは、質の健康であります。水仕事のあとや、ちよつとした立ち働きの後で、下腹や腰が痛んだり肩が凝つたり、生理不順、逆上頭痛、冷え込み、白帶下などで惱まされるのは、婦人科疾患の爲と思つて間違ひありません。此の病氣に罹るとお肌は日毎に荒れて小皺が出來、明朗さが失せて急に老けるだけでなく前記の樣に色々な症狀の爲に苦しまなくてはなりません。婦人科疾患の治療藥は種々ありますが、一時的、局部的な手當ではなかなか芯から治り難いものであります。どうしても病の根本へ深く作用して病毒菌を滅殺して毒素を體外へきれいに出してしまふと共に女性ホルモンを補給して、病竈を起し易い弱い細胞に賦活作用を與へることが大切です。ワセトン球は此の目的に適つた文化婦人藥として帝大病院婦人科でもその價値を認められ澤山の患者に使用されてゐる信用ある家庭婦人藥ですから、皆樣にも安心してお推め出來ます。家庭で手輕に使へ、素早い效き目がありますので流石は新時代の文化婦人藥です。[illegible]
有名病院使用の文化婦人藥
ワセトン球

石綿板・石綿糸
石綿シートパッキング
スパイラルパッキング
エキセルコイル
朝鮮アスベスト工業株式會社 代理店
辰巳商事株式會社
本社 京城府古市町四三番地
出張所 平壤府泉町二一番地 清津府浦項町七八番地

第五十一回決算公告 (昭和十七年十二月三十一日現在) [illegible]

第五回決算公告 (昭和十七年十二月三十一日現在) [illegible] 朝鮮[illegible]株式會社

第拾回決算公告 (昭和十七年十二月三十一日現在) [illegible] 平壤燐寸株式會社

第貮拾五回決算報告 (自昭和十七年[illegible] 至昭和十七年[illegible]) [illegible] 昭和十八年三月 朝鮮製油工業株式會社

[illegible] 昭和十八年三月六日 朝鮮農林株式會社

公示催告 [illegible]

蘭貢陥ちて一周年

小田亀雄氏にきくあの日の思ひ出

早くも蘭貢攻略一周年、皇軍の赫々たる進撃のあとに英鬼を蹴散らし、[illegible]ビルマは今や新しい独立の栄光に[illegible]、一億の[illegible]

小田亀雄氏

[illegible]

まづバーモ長官の[illegible]からいはうか、あの人は平生から内心に燃えるやうな愛国心を秘めてゐる人で、英国統治下の大臣に二、三度就任してゐる。私は当時蘭貢で新聞を編集してゐたので、時折

バーモ博士　から依頼をうけたことがあつたが、一介の弁護士でも日本人である私に対して終始礼儀を尽した。如何に[illegible]が当時から日本人を尊敬してゐたかがこの一事でもわかつた。

バーモ長官は[illegible]の生れで幼い頃から佛門に帰依してゐたが、[illegible]英国の政治下に参加したところから一時は親英派とみられてゐた時代もあつたが、その

火と燃える正義感

ビルマ人の日本信頼は世界一

夜燃えるやうな愛国心が長官を[illegible]出して遂には

身の危険　を感じて姿を隠してゐたやうだ、名門の出で温厚よく民心を集めてゐた人である

最近の兄からの便りによると、日に日にビルマの建設は進み、民心も安定して全く生々としてビルマ人のビルマが生れてゐるといふことでした。ビルマ人の独立心はその勇敢に示してゐる通り、殊に彼等は英国の支配に苦しんでゐた、今こそ日本によつて多年の念願は叶へられたのだが

私の信ずる　ところではビルマ人ほど日本人が好きな民族はなく、また日本を尊敬する念も世界一だ。私は数名のビルマ人を使用したことがあつたが、ただの一度も不快な念を持たされたことがなかつたのは、その国民性が正直で正義感に強く、また勤勉であるといふことに起因する

また一面、パゴダを崇拝する如く[illegible]やうな宗教心が強く、[illegible]といふ風習を生み出してゐるのかも知れない。ともあれ

日本の支援　下に喜びにあふれて建設にいそしむビルマ人の姿が私にはありありと見える

英の魔手に悲しき犠牲

淑子ちゃんの霊に祈る

近くわたしも機会をみて懐しい蘭貢へ行きたいと思ふが、それにしても残念な最期を遂げた妹が可哀想である、冥福を祈りたいと思つてゐる。当時不逞英国官憲に捕はれた長女淑子は身であつた、捕はれると共に毒液の注射をうけて殺されてしまつたのだが、これは内地の新聞にも報ぜられ当時私達も

悲憤の涙に　くれた、兄達はマンダレー攻略前に次女[illegible]枝が英国軍の目を掠めて脱出、急を皇軍に通じて一家が無事救

即戦即決の構へ

武装自転車部隊聖地に集結

堂々錬成の火蓋を切る

本社主催

【扶餘にて大山特派員発】輝く錬成の鍵を手にペダルを踏しめて徴兵への意気を聖地扶餘から長躯朝鮮神宮間一百四十八キロに結ぶ本社、朝鮮青年隊及び朝鮮[illegible]振興会主催の徴兵制実施記念錬[illegible]所生徒扶餘、朝鮮神宮間武装自転車部隊錬成大会は大東亜戦争下再び迎へる陸軍記念日を前に七日扶餘に開会式を挙行、こゝに四日間に亘る勇壮豪華な機械化部隊錬成の幕を切つて落した、この錬成の第一歩は朝[illegible]に選ばれた京畿道を初め全鮮十三道及び京城府の百卅名代表選士が、それぞれ監督統率のもと扶餘に集結、午前十時を期して半島を先頭に扶餘神宮御造営地の整地に向けて錬成の第一歩を踏み出した、かくて[illegible]大会の第一日、午後一時から扶餘神宮造営地前に大日本[illegible]府[illegible]を開始、

開会式の[illegible]を述べ、次いで『君が代』奉唱に次いで宮城遥拝、大東亜戦争必勝の祈願黙祷を捧げ、[illegible]厳かな式典[illegible]

祭場正面には神籬[illegible]が祀られ、整然と[illegible]して[illegible]を厳粛に[illegible]修祓、降神、献饌があつて[illegible]祝詞奏上してのち玉串奉奠、撤饌、昇神の儀があつて神式の儀を滞りなく終つた、次いで[illegible]

錬こそ[illegible]の直要事であるが、恰も戦時に輝く聖戦の[illegible]ともつて[illegible]八回陸軍記念日を迎へんとするに当り、この扶餘と朝鮮神宮間を舞台とする錬成大会は意義深いものがある、こゝにこの聖戦の内鮮一体の根源を極めて近代戦の華たる快速自転車部隊に倣つて即戦即決の国防競技に錬成を期することはこれまた諸君の本懐といふべきであらう、よろしくその熱誠の闘魂をつくすよう

傾け堂々闘争皇軍の進撃に倣つて斃れてのちやまむの決意に終始せよ

と式辞を述べると、これに応へて選士を代表して忠南代表隊長矢島君が宣誓、[illegible]三島所長の訓示、来賓祝辞に入り、山木忠南知事代理鳥田[illegible]長代理(代読)、朝鮮軍報道部長(倉茂少将代読)からの[illegible]激励、原田委員長の先導で皇国臣民の誓詞を力強く斉誦一同を激励、[illegible]式の辞を述べて[illegible]な開会式を終つた、かくて午後五時一同は修錬所に入所、第一日の錬成行事に入つた

沿道歓呼の嵐

各道精鋭　扶餘街道を驀ら

【扶餘にて大山、中村特派員発】朝鮮神宮間武装自転車部隊錬成大会民、健民錬成の成果を挑げる扶餘、勤[illegible]を三島修錬所長が率いての前後で郷土の栄誉を担ひ大会に臨せんと全鮮十三道及び京城府の代表精鋭は七日朝論山に集結を終り、やがて皇軍の隊伍に列せんと手る諸子こそはいち早く健民健兵の本義に徹すべきものであり、そのためには[illegible]精神の[illegible]を[illegible]で決戦の錬成[illegible]

かに奏でた、早朝を先頭に各道代表自転車部隊は陽炎もえる扶餘街道を一路聖地へと疾駆する、早春の沿道には若草の緑が萌の陽光に映えて走る双輪を包む、[illegible]起伏ものかは、沿道の部落民は手を振つて栄えある壮挙を見送つてゐる、国民学校児童達も可憐な歓呼の声を送つて一行を激励してゐる、松の林、或は松並木を右に左に見てやがて颯爽たる銀輪部隊ははち切れる闘魂を漲らせながら正午憧がれの扶餘の聖地に入つた

【写真】論山[illegible]より一路扶餘に向ふ京畿、忠南、黄海、平北各道の選手達（松岡特派員撮影）

錬りに錬る若き魂

先づ静坐の行から…夜の錬成

【扶餘にて大山、中村両特派員発】大君の御楯となら[illegible]の赤心に燃える選士達を修錬所入所式の後に[illegible]、若き半島青年が[illegible]決の機動力訓練を目指し、晴れの聖地扶餘に錬成の扶餘、朝鮮神宮武装自転車部隊錬成大会の[illegible]は七日午後五時[illegible]修錬所に入所した[illegible]式が行はれ、修錬所長はじめ選士一同に対して修錬所入所に関する諸注意があつてのち[illegible]の要領、御製奉誦、食事の行[illegible]など修錬所起居動作の[illegible]が同[illegible]指導の下に

行はれ、夜の錬成行事に移つた、午後七時一同食堂の前庭に[illegible]食前の作法を[illegible]はじめ、[illegible]の行を続ける、一箸ごとのち合掌して食前の祝を高らかに奉誦『いたゞきます』とはじめて[illegible]をとる、終つて同じく[illegible]を斉唱して[illegible]

詞を[illegible]と誦し選士一同は極[illegible]の[illegible]を[illegible]めてひたすら錬成への若き魂を燃やして[illegible]る扶餘[illegible]、かくて同八時[illegible]夜の[illegible]行事の[illegible]

[illegible]

将、錬仕上げまで誰の助力もなく一人で器用に捌き、しかも早朝から深夜まで黙々として働き一日も休まず[illegible]

繊機台の前に端坐し一心に[illegible]織る盲の身を親兄弟に助けられ、[illegible]てゐては申訳ないと機織に日から精を出し[illegible]

[illegible]らされ、自とてこの時局下重要なる物資である真を知る一枚が軍需品として部落に[illegible]を一枚の[illegible]部落をあげての[illegible]

盲の身で日に八枚

尊し黙々と叭織る姿

【満洲電話】矢明者が離縁の叭織りをして軍需品増産に協力してゐる佳話がある－忠北道沃川郡伊院面加顆里崔目柳川在元さん(三十)は十歳のころ当時流行した痘瘡に感染し両眼の視力を遂に失明、その後二十数年間暗黒の月日を送つて来たが、最近[illegible]

黙[illegible]、この[illegible]姿は人に涙なくしては見られないと[illegible]せ[illegible]軍需品増産に[illegible]白人柳川さんに刺激され若きも老いも一人として[illegible]遊ぶ者なく国民皆労の[illegible]叺織りは見事な[illegible]事に[illegible]

[illegible]部（[illegible]）の二部増設を文部省へ申請中であつたが、認可を得たので四月の新学期から開講する

體専に航空海洋の両科

【東京電話】次代青年の[illegible]（[illegible]）精鋭なる[illegible]を養成しようと日本体操[illegible]は[illegible]

漁船の譲渡に英筋違ひ抗議

【ベルリン六日同盟】ドイツ政府が最近スエーデンの漁船を購入したのに対し、英国政府が[illegible]を[illegible]

今ぞ知る英の魔手

蘭印戡定一周年

収容所で語る蘭軍俘虜

【台北電話】皇軍電光石火の進撃に蘭領東印度が降伏してから早くも一周年、戦ひ敗れ国を失つた敵将ポールテン中将、オーバラッカ少将、チャルダー蘭印総督、スピッツ前スマトラ総督らは、いま台湾俘虜収容所に収容され、日本全土の[illegible]に浴する蘭印戡定一周年の感激の瞬間を[illegible]しく聞いてゐる、記者は〇日各収容所を訪れ、敗残の敵将から一年

前の感想を聞いた

収容所長室と俘虜の宿舎とをつなぐ前庭の青々とした芝生の上では一人の俘虜将校が熱心に書物を読んでゐる、オランダ軍のファンリー・ウエン大佐である、手にしてゐるのは英文の『漁夫と生活』といふ小説本だ、通りがかりに声をかけると大佐は『お蔭で病気も全快元気です』と朗らかに笑顔で答へる、玉砂利の細道を通つてオランダ俘虜の宿舎を訪れる、廊下を往来する俘虜達が記者を案内する

わが軍の進駐と共に不動の姿勢で一斉に敬礼する、中には金モール附きの華美な軍服を着た陸軍少将や大佐も交つてゐる、かつては蘭オランダ軍の高級指揮官として三軍を叱咤した連中であらう

卑劣極まる英軍

チャルダー旧総督は語る

オランダ海軍の俘虜将校室からその[illegible]

チャルダー旧蘭印総督が陸軍将校の指揮に従つて北側にはアメリカ、オランダ、南側にはイギリス、豪洲の俘虜がそれぞれの作業場を懸命に[illegible]してゐるのが見られる、俘虜達に交じつて晴れやかな陽射しを浴びながら指揮監督に当つてゐるチャルダー前総督やスピッツマン少将等の姿が見える、昨年三月八日カリヂャチ飛行場に飛来して『無条件降伏の用意あり』と我が軍門に降つたテルボールテン中将、ボースマン参謀長は[illegible]の会見を行つたチャルダー総督のことはジャセアン・A・N・L・チャルダー・ファン・スタルケンボルグは五十四歳とは見えない頑健さと外交官らしい柔和さを感ずる、彼は一九一一年グローニンゲン大学を卒業、法学博士となり欧州外務省に入り同三三年にはベルギーの公使となり、三六年蘭印総督に就任した、彼は蘭印降伏について語る

蘭印降伏の直前三月六日蘭印当局がコンミュニケを発表したのはバンドンにあつた英軍国防隊（約一ケ大隊）の英軍の裏切によるものだ、オランダを今度の戦争に引き込んだ英軍は蘭印降伏の日まで[illegible]オランダ兵のみを前線に立たせてゐた、結局全官は降伏の意思をもつてゐたが英軍は最後まで之を許さなかつた、翌七日午後九時頃ジャワとの連絡が杜絶しバンドン放送局からサンフランシスコに向けアナウンサーが突然蘭印の放送を中断すると言つた、これを以て放送を中止す

わが[illegible]を眺めてゐたが[illegible]

くと何れも漸次に整頓され私物棚の上には整頓の通り家の写真が飾られてゐる、彼らはジャワに敵愾心があつたため[illegible]官でありながらなかつたといふ

そして『英米の俘虜には[illegible]団結がない』と嘆くのだ、俘虜となつた彼らからは戦争意識など微塵も感じられない、専らジャワに残して来た妻子の身の上に思ひを馳せてゐる有様だ、オランダ兵は敗戦な英の俘虜達にまで非常に従順で作業場などでも米英兵には一歩を譲つてゐる態度が見られると述は通訳士官の話－

屋の壁には自慢のウイルヘルミナ女王の肖像が飾られてゐる、郷愁を[illegible]に寄せた少将のスケッチ・ブックにはジャワ生活の思ひ出が描かれ、昨年三月俘虜として日本に護送される時、永年住みなれたジャカルタ港を陰惨な思ひから描いたといふスケッチは涙石に記者の眼を惹いた『女王はその後御健在であらうか』と女王の安否を問いてゐる老将の[illegible]な表情には英国の謀略の犠牲となつたいたましい陰影が見られる【写真－プレマサー少将】

る、再び平和が来る日迄ウイルヘルミナ女王の御健康を祈る』これが最後であった、大東亜戦争は世界の革命であり、米英蘭合国はジャワ喪失によつて欧洲の植民帝国が終焉をつげたことを知るであらう【写真－チャルダー旧総督】

悲し俘虜生活

旧スマトラ総督

アドリアン・スピッツ旧スマトラ総督はスマトラ西海岸パダンに在住すること廿一年、一九一三年に文官見習としてスマトラに着任、一九三八年初代総督に就任、当年五十四歳『俘虜になつたのは何日か』の問ひに対して日本軍がメダン附近に上陸した翌日の三月十三日だつた、しかし正式に許されて同十五日までは総督の地位に止まることが出来た、自分は一日も早く平和が来るのを願つてゐる、俘虜となることは悲しいことだ、毎日俘虜となつたことを忘れるためにスペイン語を習つたり碁を耕したりして自分自身を慰めさせてゐるとわびしく語つた【写真－スピッツ旧スマトラ総督】

鑛山、農家へ思遣り

小磯総督　忠南北へ初巡視

【清州にて小山田特派員発】決戦下の半島統理に日夜戦略を練りつゝある小磯総督は七日から一週間の日程で忠北及び全北三道の初巡視を行ふこととなり七日午前七時半京城駅発列車で第一日目まづ忠北道清州への途についた、この朝総督は例の通り国民服に戦闘帽、右手には握り太の藤のステッキをついた無造作な姿で大野総督官、湯水陸軍御用係、堂本情報課長及び宇山秘書課長、殿下[illegible]らの見送りをうけ、特別連結の専用車

決戦に赴る[illegible]へ、窓外に移りゆく春先に、[illegible]つかまへて総督の関心の的はまづ田園と、雪解けの[illegible]

[illegible]畠に勤しむ農家の姿に矢を向け[illegible]

かくて午後零時二十五分丹陽駅着、自動車で丹陽郡庁に入つた総督は郡守室で[illegible]郡守、洪[illegible]より管内状況を聴取したのち[illegible]し[illegible]戦意の[illegible]

部長等乗車、陸[illegible]グステン、モリブデンの鑛山名な堤川郡で十分間停車中ホームに[illegible]

次いで無煙炭[illegible]に尽力をかけてゐる中陽石炭工業の[illegible]日本稀有金属会社丹陽出張所長白谷駒一氏から[illegible]生産状況の[illegible]を約一時間に亘り聴取したのち

再び自動車で瑞江の鑛業所を、午後三時十五分丹陽川西鑛山、忠州[illegible]月岳鑛山を訪れ同鑛山事務所で朝田鑛務課長からタングステン、モリブデン増産に邁進する同鑛山の現状を聴取した

のち事務所広場に立ち出で同鑛山私立特別錬成所生徒約四十名の訓練ぶりを閲覧した総督指導員の命令一下分列行進に、各個訓練に日頃の激しい錬成ぶりを遺憾なく発揮する若人たちに対し総督は慈父の如き温顔で訓練の型を示した後「諸君の錬成の最後の目的は国家の本義に徹せよ」と言ふことだ、天皇陛下の御為と言ふ一事に盡きる。一つのスコップ一つのハンマーを振ふにもこの心掛けで錬成に努めよ」と情味あふるゝ言葉で約廿分に亘り訓示し人情

かくて同三時十五分同鑛山を辞去、忠州郡庁で松田郡守、四時廿五分忠州郡庁[illegible]押川郡守の所管状況の報告をうけ同五時十五分忠州発途中[illegible]清州に到る、途中[illegible]

[illegible]かい言葉で[illegible]路[illegible]米をまぜて作つたお粥を啜つて消費規正を励行してゐる農民生活を親しく視察、同七時半清州着官舎に入り[illegible]官有力者招待会に臨んだ

小磯総督地方視察へ（左端は大野総督官、清州駅頭にて）

總てを敵撃滅へ！

節米、金屬供出、清掃三つの申合せ

けふ第十五回大詔奉戴日

八日は第十五回の大詔奉戴日、この日の[illegible]愛国班[illegible]は朝鮮総督府情報課長が『この意義』について[illegible]を行ひ、次にこの月の申合せ事項は清掃、節米、金属供出である、道義

半島の美しさを誇り[illegible]めて[illegible]に穢された街の道や部落民家の庭に積つた塵芥や汚物を[illegible]掃つて本当の美しさを[illegible]て清々しい春の訪れを待つべきである

次に節米では一日一個の節食を強ひると、米は貴い農村の汗の結晶だ、これを供出した人々に感謝してまづ節食資の増産を図ること、そこで

今日は愛国班一斉に家の内外の[illegible]

は勿論次の郷の倉へ[illegible]

[illegible]

いで農村も[illegible]の供出に備へて節米[illegible]を励行、共に銃後の節米の足しにすべきだ

第三回の金属回収はこれこそ本気でやつてもらひたい、敵米英を『撃ちてしやまむ』の決意を固める前米、[illegible]な[illegible]品を[illegible]抱いてゐる人はゐないか、無論は鑛山ばかりにあるのではなく街にもある一發必中の銃弾に、敵艦を撃沈する砲弾に、捧げる金属は全部赤誠である

日本に敵意なし

ポールテン中將

蘭印陸軍総司令官ハイン・テル・ポールテン中将は[illegible]年五十六歳、前欧州大戦の功労でフランスのレージョン・ドヌール勲章を佩用してゐる、彼は語る

自分は初めから日本軍に対して敵意は抱いてゐなかつた、オランダは米英の謀略を押み切れず遂に今次戦争に引き込まれたのである、日本軍から降伏の勧告を受けた時、皆自身分は降伏したかつたが、イギリス軍の[illegible]はこれを許さず、第一回の会見においても我最の我雷知何と[illegible]とイギリス軍は[illegible]伏を決意した【写真－ポールテン中將】

郷愁を繪筆に

フレマリー少將

フレマリー少将は本年六十七歳、俘虜中最年長者でジャワ生活三十年、一九四二年少将に昇進、参謀本部附となつた、部

時計の修理は林木へ

影徳家庭女學校合格者

小林喜公子、[illegible]、奥村理子、小久保陽子、川本[illegible]枝、石森[illegible]、姿田幸子、[illegible]、津根一枝、木村[illegible]子、松田[illegible]子、森本寿久子、山本多[illegible]子、三井陽子、山本久代、[illegible]、松永アツ子、川村明江、杉浦政江、山下陽子、小笠木子、[illegible]、[illegible]、高津[illegible]枝、武田[illegible]、大森[illegible]子、内海英子、[illegible]、中田[illegible]代、白尾千鶴子、今野[illegible]子、山内幸子、酒井和子、吉川富江、猪雨代[illegible]、代、[illegible]田[illegible]子、新屋[illegible]子、飯田照子、[illegible]、鈴木[illegible]代、堺原由美子、[illegible]、井川[illegible]子、奥山[illegible]子、[illegible]、[illegible]、植田[illegible]子、高橋カネ、松原[illegible]子、中山[illegible]子、星野[illegible]代子、[illegible]、[illegible]、[illegible]子、[illegible]、[illegible]、小[illegible]、田島[illegible]子、三原[illegible]子、野村[illegible]子、渡辺[illegible]子、伊東[illegible]子、池田[illegible]子、[illegible]、[illegible]、佐[illegible]、今水[illegible]子、大久[illegible]、[illegible]、[illegible]、[illegible]、[illegible]、[illegible]、[illegible]、[illegible]、大谷サチ子、小澤[illegible]、[illegible]、[illegible]男子、友口カズエ、小綿久江、[illegible]、西澤[illegible]子、[illegible]、生[illegible]乙恵、門脇[illegible]子、野村[illegible]子、小島[illegible]、梶山[illegible]子、山本[illegible]子、新海[illegible]子、小林佐保子、倉内[illegible]、田村小夜子、多田富江、[illegible]、[illegible]幸子、堀田安子、納所[illegible]子、古賀ジツコ、吉田[illegible]子、建井[illegible]、新川[illegible]子、杉浦[illegible]子、岡田房子、[illegible]つね子、渡辺[illegible]子、[illegible]田八重、大[illegible]子、林昭子、村上[illegible]子（以上一二〇名）

撃ちてし止まむ　扶桑萬年筆　KB

置装削切車歯傘ソーゾッマ　シエーパー及ミーリングアッタチメント　特許第五五四三號　實用新案登録第一一一四號　大和工業株式會社　東京市京橋區銀座西六丁目　電話銀座(57)6391番

ぢ　痔疾治療の最適時　今は痔疾の増悪時であり一番手當の最適時です。即ち優れた治病力を持つ本劑で徹底的に手當すれば治癒は顯著です　小松痔退膏　小松痔快丸　[illegible]　販賣元　京城[illegible]株式會社

備へあれば憂ひなし　一戸の不備は萬戸を失ふ　弊社に於て恒久的暗幕の取付施行を致します御一報次第見積を致します（地方の御注文にも應じます）　富士工藝社　[illegible]

日本決戦型高速度粉碎機　日本粉碎機株式會社　電話[illegible]

社名變更公告　新社名　日本鑛産株式會社

軍用犬　日本犬　日本犬[illegible]研究所

酒井婦人病院　京城府永樂町二丁目八十七番地　電話本局(2)二〇〇一番　院長　七島[illegible]

ニキビ・ソバカス・シミを除き白く美しく[illegible]を作る　**モビアン**　藥用クリーム　洗顔クリーム　東洋商會

らい病

ドモリ

天地眼出張　大事百般　鑑定　指導　解決　命

延禧專門學校生徒募集

國民文學　3月號　定價70錢　送料02　新半島文學への要望（座談會）　菊池寛・横光利一・河上徹太郎・保高德藏・湯淺克衞・福田清人・崔載瑞　義務教育になるまで　大東亜文化の創造・高承濟　新進作家論・金鍾漢　朝鮮通信史話・黒田省三　間島開拓村紀行・鄭人澤　太白山脈・金史良　念念行・汐入雄作　山靜かなれば・飯田彬　人文社

計告　醫師大山正晃（妻正鳳）公（京醫專出身）既以宿患累月呻吟不幸於三月四日午前三時別世茲以訃告　[illegible]

乳のよく出る藥　ラクトミン　子供は皇國の宝　母乳を確保して強く育てませう　製造元　國際新藥研究所

ハマグチペン

造血強壯　エリトーゼ　甘芳　二省製藥所

菊一文字　**軍刀**　謹製　本家菊一文字　京都市三條河原町

東亞工科學院　生徒募集

東洋工科學院　生徒募集

せきにパラコミン液

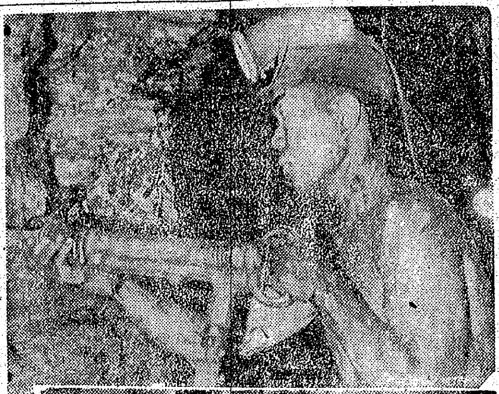
『撃ちてし止まむ』ふ戦場　職場二題

地下四千尺に挺身　『十二時間』陽の目なき死闘

『撃ちてし止まむ』の新戦意に決戦下一億國民が職場に挺身として全國に迎へられつゝあるが、この同じ叫びが暗い地下四千尺の坑底からも猛然として堅実に迸しり出てゐる。現下五大重要産業の一つ、全國の各炭礦では、寸秒を分たぬ採炭増産に、数千数萬の産業戦士が勝利をかけたその闘魂を炭物露ひにかけつてある、そのひと振りくが暗い岩層に向つて『撃ちてし止まむ』と叫ぶのだ。以下は坑底の黒ダイヤ戦士の一日である

炭坑

午前四時、起床合圖の鐘が宿舎に鳴り渡る、さうして寮の下にはゃ今朝も『そおさん、おばさんおはやう、けふも休まず御國の爲に働いて下さい』といふ元氣な可愛い子供等の聲がきこえる。彼等の歌のなんと雄々しいことよ。わづか数人の奇特な子供が、起床合圖と共に太鼓を各宿舎の間を叩いて廻り連日の疲れに出動を怠り勝ちな大人達の心を鼓舞してくれたものだつた。それが石炭が兵器だといはれ、増産が叫ばれはじめた大東亞戰爭以来といふもの、この寒しい少年少女の仲間が一躍現在の八百六十餘名といふ驚異的な數にまで殖えてしまつた。大人が怠けてなるものかと、次ぎ次ぎに鑛所につめかける坑夫等の顔には、最早微塵も疲勞の色は見えない。まだ暗い坑所にはヘッドランプを作業服の上に輝かせた彼等の姿が整然と列んでゐる。坑長、勞務係、現場員等によつて要拝式に暖呼され宮城遙拝が厳粛に行はれる、曾ては食ひはぐれ、世に敗滅された者の隠れ場のやうに考へられてゐた坑夫等の、今はなんと規律正しく増産報國の一念に燃えてゐることか



坑道を駆け降りるのが午前五時、初の人車が薄暗い坑道を降りてゐるのだ、坑夫等が再び日の目を見るのは、それから丁度十二時間後の午後五時過ぎである。坑道の中は一番廣い所で高さ八尺、巾一間位、狭いところは人一人やうやう四つんばひになつて通れる位、狭い上に地熱によつて温度は地上の夏季程度、ここに働くものは皆全裸に近い。切端で炭層が切り崩される毎に濛々たる塵埃が立ちこめて目も口もあけられたものではない、そして下に籠る地下だつて激しくなつてある。暗いな、こんなところで人が必死の作業をつゞけてゐる。ジャツクハンマーで發破孔を掘る先山、チエンコンベアに崩れた石炭をなげこむ後山、これから送られてくる石炭を炭車に詰めて押しまくる運搬夫、皆が一つの目標に向つて一心同體とならなければとても出來ない仕事で、これらの人々のなかには坑夫烈勤のものも勿論あるが、勤勞報國隊、轉業者、季節・苦夫、半島人など、異色ある人々も少くない。農村から勤勞報國隊としてやつて來てゐる一青年は、

黒い汗を流し ながら初めの頃は太陽の照る廣い田畑が戀しかつたが、今では誰か見てゐるからといふやうな懸得でなく、默々として而も立派な任務を完成する、この仕事に愛着を覺えてきたと語つた。最近まで東京の菓子屋だつた主人は、初めは恐怖心をさへ懐いたが、やり切れずにやつてきたが、やつてみると決して出來ないことはない、ただ身體が餘り丈夫でないので心配だが、潜水艦の話を聞いてからといふもの、休むなどといふことは考へられなくなつたと雄々しく語つてくれた、晝食の時は十一時頃、切端から少し離れた空氣のよい、しかも炭車の交通の邪魔にならぬ交叉點のやうなところでとられる、僅か一時間の休憩のうち、再び増産の號笛が振られる定刻の五時が近づいてくると、作業は緩漫になるどころか、いよいよ火花を散らして闘はれる、それは一車でも一塊でも多く産出することが前線の戦果に、最後の勝利に直接の影響を持つことを、この地下で働く人々がよく知つてゐるからだ、どんなにへとへとに疲れても人々を支へてくれた子供たちのあの顔、あの響が暗闇に浮ぶと不思議に何處からともなく異常な力が湧き出てきて最後の炭車を満載にするのだ、かうして振はれる鶴嘴、シャベル、ドリルの轟々たる騒音は正に勝利への序曲を奏でゝゐるのである

【寫眞】地下三千五百尺の坑内切端に向ひジャックハンマーを握つて採炭に敢闘する炭坑戦士（上）と選炭作業に從事中の女子勞務者

まさに灼熱の戰場　六十媼も交へ　めざましき女子報國隊

製鐵

鎔鑛爐の口が開く。白熱色に輝く熔鐵が、物凄い火花を八方に散らしてどろどろと巨大な取鍋の中に流れ込む、見てゐると汗ツと熱くなつて思はず顔をそむけずにはゐられない、眼だけ出して顔を白布でつゝんだ數人の男が飛び散る火花を避けつゝ長い鐵棒でこの鐵の熔湯をかきまはし、表面の滓を取つてゐる様は、まるで地獄圖繪そのものだ、これは鐵の全ての母胎の親である銑鐵をつくる岩手縣〇〇の製鐵所である、廣い高いぶつ通しの工場内にはトロツコの線が布かれ、頭上には巨大な起重機が轟々たる音をたてて移動し彼方の火爐の中から

眞赤に 熔熱した〇〇トンまみの鐵塊をいとも軽々とつり上げ、壓延機のそばへそつと置く、こゝではさしもの鐵塊も、飴同様にかけられると長くも平たくも自由自在、瞬く間に見事な製品となつて積みあげられてしまふ、熱と鐵と汗の結晶、同工場の勞務者はそれだけ總てをさなる危險にとりまかれてゐるのだ、晝夜交代の各十二時間は、正に鐵の戰士にとつて危險と緊張に充たされた戰場に等しい

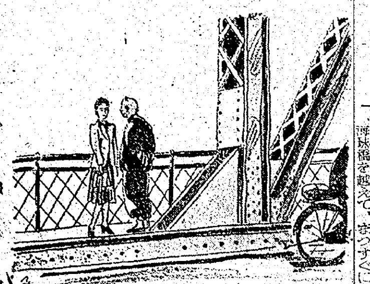
眞剣に 傍のポスターには『鐵一燃の増産は勝利の鍵』『敵撃滅』と闘志を表す標語が見られる、人和といふことも、この工場では部組織である各現場の班常會が集まつて係長の下にいくつかの中隊常會を組織し、更にこれが集まつて各課長中心に數個の大隊懇談會を作り、最上級の懇談會を形づくつてゐる、大切なことはこれらが上からの命令で出來たのではなく、長期闘爭に即應されて自然に人々のなかに、粘り強くなつてゐる東北人勞務者の下から盛りあがつて出來た強い組織であることだ、そして毎月常會のひとたび『撃ちてし止まむ』の精神を說けば、これが直ちに此の機關を通じて最低部の現場にまで傳へられ、日に〇トンの増産を實現し得ること、なのだ、このなかに立ち混つて白鉢巻姿も甲斐々々しく負けずに立働いてゐる老若男女の一團が人目をひく、これこそ一般人の女子報國隊を代表

多彩な 人々から成つて して選ばれた勤勞報國隊と増産報國隊の人々なのだ、それは床屋、料理屋、呉服商、醫院等多彩である、年齢から云つてもバラバラである「初めは必ずしも皆喜んで働いたといふわけではありませんでした」と勞務課長は正直に語つてくれる「例へば料理屋出身の人などは金はいくらでも出すからうまいものを食はせてくれとか、もう少し腹いつぱい食べさせてくれなどと不平をこぼしたものでした、しかし終了式の日に感想をきくと、初めて美衣美食は敵だといふことが判つた、自分は今まで米の有難さを知つてゐると自惚れてゐたが、それは僞物であることを知つた、今度他人の米を食べてみて初めて本當に知つたのだ、などと感激して語つてくれました、今は十分に食事して能率をあげようといふ時ではなく、少量の粗食に甘んじても一時、二時、三時と働かねばならぬ時局であることに目覺めてくれたのです、肉親の訃報に接し乍ら敢然期間終了までは歸郷を肯んぜず或はそれを一人秘めて立派に勤勞をなし遂げたのち、終了式に臨んで初めて打明けたといふやうな美談が数多あるのです、今ではこれら皆さんの熱意ある働きがこの工場の重大な勞働力になり本職の工員達もこれに刺激されていよいよ旺に働き精勤してゐる有様です」特に女子報國隊の活躍にはめざましいものがあつた、昨年八月から六十餘歳の老婆までもが参加して石炭を蒸してコークスを作る燃焼爐の建設を始めた、か弱い女性が四、五貫もの煉瓦を背負つて日に何十回となく煉瓦置場とその敷地との間を運びつゞけて地上から十米近くの高さにまでつみあげた、工場では、この燃焼爐に女子報國隊に因む名をつけて、永久に記念とする計畫も進められてゐる『撃ちてし止まむ』必勝をかけての増産の背後には、このやうな産業戦士の勤勞と、一般銃後の協力が脈々と波うつてゐるのだ【寫眞＝灼熱の鎔鐵爐から流れ出る鎔鐵】

大いなる祭【86】

中野實（作）　三芳悌吉（繪）

同志の歌（五）



『あ、毅爺』

淺間で別れたきりの毅であつた。

『どうしたい。まさか廣東で會はうとは思はなかつたが……』

『あたしも毅さんにこんなところで會へるとは思はなかつたわ』

二人は歩き出しながら、

『ね、毅さん』

『なんだね』

『あなたに何時か云はれた孝鐵のことね』

『うむ』

『あれはやつぱりほんたうだつたわ』

『それについて、毅さん、あたし』愛中路の文苑酒家へ美々は、毅を

『おやぢ』と、毅はじろりと師顯で美々に一瞥をくれながら、

『張芬てめへで口を割つたのか』

『まあそれと同じだわ』

『さうか』

毅は、頷いて、

『それでやつぱり張と一緒に仕事をやつてゐるのか』

話があるの。手間をとらせないから、一寸そこまであたしと一緒に來てくれない？』

『うむ』

海珠橋を越えて、まつすぐに案内した。

『さうか。それで、大體話の筋は判つた』

梅時英が金白園の家で張三傑のために謀殺された一件を美々から聞いて、毅は大きくうなづきながら、

『そこで、これから、お前はどうするつもりだ』

『それは、命賭か仇で頂戴』

『どうして』

『どうしてつて、あたしは、梅さんの前で誓つたの。毅さん、水臭い奴だと思はないで頂戴。決してあなたを疑つてゐるわけではないんだけど――』

『よし、よし俺も働くのは止さう。だが美々。何時でも、用がある時は呼んでくれ。おまへの助太刀はしてやるよ』

『有難う』

美々は、心から禮を云つた。

『時にな、美々』

『なあに』

『例の歐大慶閣下な、梅時英が飛行機で連れて逃げたと』

『え、』

美々は、ギクリとしたやうに、毅の顔を見まもつた。

『まだ廣東に潜まれてゐるつて話だが、なんか、お前、それについて聞いてゐるとはねえか』

『いゝえ』

と美々は胸を躍らせながらうち消し、

『どうしたの』

『俺も詳しい事は判らねんだが、なんでも昨日、長堤の金輪へ來た客の話に、廣東で捌いてしまはなきや、歐閣下を上海へ送るまへに、あいけねえなんて噂をしてゐたさうだ』

『ほんと、それは』

『俺はお前が重慶派か、南京派か、そいつは知らねえ。しかし、梅時英に繋つてゐることだから、そんな噂のあることだけは云つといてやるよ。俺にしたつて、どつちでもいゝことだが、重慶にとつちや歐閣下を生擒られてゐることは、弱味に違ひねえからな』

さう云ひ終つたかと思ふと、毅は、阿片が切れたか、頬の筋肉をぴくぴく痙攣させながら、苦悶し始めた。（つゞく）

ラジオ　8日

朝　七・〇〇君が代、詔書奉讀（錄音）大詔を拜し奉りて（東條内閣總理大臣錄音）「敵國アメリカ」高石眞五郎▲七・二〇（城）大詔奉戴日常會の時間▲九・〇〇（城）戰時家庭の時間（朝鮮語）▲一〇・〇〇「ミシナデオヤ」池谷義雄▲一一・〇〇「日本バンザイ」

晝　〇・〇三ラツパ吹奏と合唱「撃ちてし止まむ」▲四・〇〇われらの國史

夜　六・〇〇われらの國史▲七・三〇（城）向日葵▲七・五〇（ベルリンより）ドイツ通信▲八・〇〇（城）詩吟▲九・〇〇（城）野談「米一斗」（鮮語）金溶毅

■新刊紹介

▲愛育（三月號）▲日本思想▲京城商工會議所經濟月報（三月號）▲朝鮮の教育研究（十二號）▲太陽六日本

放送　三月十三號　ユダヤの陰謀を衝く　敵國アメリカの實相　中野五郎　大和　東京市芝區田村町　日本放送出版協會

ラジオ科學　三月號　ラジオ技術者必讀の雜誌　東京市芝區田村町一ノ四　誠文堂新光社

京日案内

案内料金（前金）　種別　一件一回税込　一號型（三行）金五円四拾錢　二號型（五行）金九円　三號型（十行）金拾六円

求職・求人・貸家・買家・電話・讓渡・建築・醫師・交換・求職・見習・代診・交換・小店員募集・女給さん急募・求美容師・時計・求む貸店舗・看護婦・貸工場・事務所向貴家・三國商會・タイピスト採用・中鮮電器株式會社・タイピスト募集・鮮滿經濟研究所・天信堂眼鏡部 メガネ・京日案内廣告の御用命・タイピスト・洋裁新期生募集

今日入荷　純支那産明水一本太葱・純支那産赤長廿日大根・純支那産一斤三尺胡瓜　大陸種苗園

科齒木村　醫學博士 新井明鎭

京城府黄金町 東光堂

洗濯原液　新井商會　セカイソーダ洗濯石鹸に優る

綿糸加工品　牛馬具綿糸パツキング　朝鮮綿糸層

フルターミシン　在庫豊富　地方特約店募集　大新ミシン商工社

引越荷物荷造運搬　共同組

豊富材料 荷造　市内外貨物運搬　引越荷造其ノ他　戸村組

タイプ印書引受

結婚の相談は　式場無料　平和禮式部

洋裁新生徒募集

野菜種子專門カタログ進呈　大陸種苗園

荷造ご運搬　資材完備　紀新組

新婚禮式　中央禮式　面紗・新型豊富・自動車便有り

洋裁生徒募集

古着　洋服・呉服日貨

文化禮式部　結婚式の相談は

貸衣裳

花柳病専門　松野醫院

タイプ印書引受

入院室完備　金思駟内科

勝ち抜く爲に

世界大地圖　大改造新地圖　西本峰樹

朝鮮語版・國語版

南洋産業要圖　朝鮮産業地圖　永興堂

ピアノ・オルガン

醫學博士 小村榮三　内科 兒科 コムラ病院

コーア洗濯ノ素　吉和商事

花柳病泌尿科　安部醫院

貸衣裳

痔疾に ミミナル

萬花堂禮式部

債券買入　平野證券社

簡易な印刷は　卓上印刷器の出現！！　轉寫版入荷　三和商事社

タイピスト募集

都旅館

映畫・演劇

東洋劇場　青春座公演　史劇佛國寺の秘話　宮本武藏　愛國公債

喜樂館　日本ニュース　戰ひの力　伊那の勘太郎

京城劇場　日本ニュース　朝鮮時報　文化映畫　清水港

城寶　蛇姫樣　雪之丞變化

鍾路文化劇場　日本少年　我等今ぞ征く　五作ぢいさん　日本ニュース

明治座　日本ニュース　昭和十九年　戰ひの街

京日文化劇場　朝鮮に來た俘虜　北の護り　日本ニュース

若草劇場　日本ニュース　燒夷彈

城南劇場　神變麝香猫大會　日本ニュース

中央劇場　空中寫眞測量　摩天樓の密使　日本ニュース

和信映畫館　食糧のない村　山のローマンス娘　俠魔劍　日本ニュース　昭和十九年

朝日座　歳名流會　流城の月

桃花劇場　日本ニュース　空の教室　新雪

大陸劇場　日本ニュース　戰ひの力　伊那の勘太郎

浪花館　ニュース　文化映畫　駄々子父ちゃん　幽靈水藝師

新富座　福地萬里　五夢女

商業登記公告

第八期貸借對照表（昭和十七年自十二月一日至十二月卅一日）　株式會社東券番

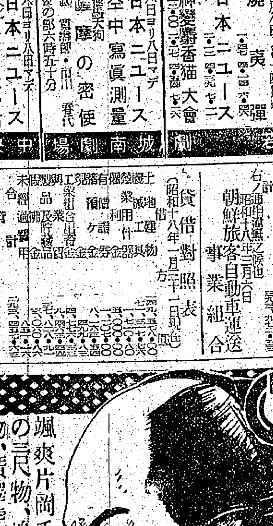
第四回貸借對照表（昭和十七年十二月三十一日現在）　親和製藥株式會社

貸借對照表（昭和十七年十二月三十一日現在）　朝鮮旅客自動車運送事業組合

貸借對照表（昭和十八年一月三十一日現在）　朝鮮窯業株式會社

本日初日　神變麝香猫　大會　舊日活京都興趣無比の剣劇映畫！　荒井良平…演出　吉川英治…原作　正と邪と剣と戀に怪奇と縦謀が絡む　春淺き大江戸の巷！血陣を馳驅する千惠藏の快演！　片岡千惠藏　市川春代　澤村國太郎　原健作　月形龍之介　絶對新版　若草劇場

颯爽片岡千惠藏得意の三尺物、浪曲界の大立物、廣澤虎造の名調子、明眸轟夕起子、特別出演テイチクの名歌謠手　おなじみの石松ぶしの美ち奴特別出演　これぞ娯樂映畫の快定版　片岡千惠藏・澤村國太郎　廣澤虎造・轟夕起子　朝鮮映畫配給　マキノ正博　清水港　本日ヨリ京劇獨占封切　京城劇場

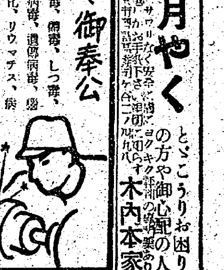


お斷り　都合に依り本日一日限り　東寶映畫・原作川口松太郎　蛇姫樣　大會　演出衣笠貞之助　長谷川一夫・入江たか子　山田五十鈴・大河内傳次郎　（明九日ヨリ）絶對新版　雪之丞變化　大會　林長二郎　伏見直江　主演　京城寶塚劇場

小兒科内科　横山醫院

醫療藥品　體位向上資材　特撰救急箱　立正殺蟲藥發賣元　立正堂

健康で御奉公　ベルツ丸は病毒、…病、遺傳病毒、動脈硬化、リウマチス、病毒性吹出物等によく適應します。　キキメで評判の　ベルツ丸　本舗 東京 鈴木日本製藥社



月やく　とゞこうりお困りの方や御心配の人に　木内本家